

山々に触れ合い自然に親しもう

国民の祝日「山の日」制定4周年記念講演会を開催

山の日(8月11日)の制定4周年記念講演会は9月14日、西根地区市民センターで開催され、市民など約150人が参加しました。

主催した市山岳協会の高橋時夫会長は「山の恩恵に感謝する日という山の日制定の趣旨に沿って講演会を開催できたことに感謝します。本日の講演を機に、さらに山や自然に親しんでほしい」とあいさつしました。

講演会は2部構成で開催され、第1部では地元の郷土史に詳しい畑謙吉氏が「松尾八幡平のおもしろ地名考」と題して講演。松尾地区を囲む山々や川、森などの名称とその由来を、自身の見解とともに紹介しました。続く第2部では、世界最高峰のエベレスト(8848m)に登頂に成功した元平館高校長の岩澤健二氏が「岩手山・八幡平・安比高原50キロトレイルからエベレストの頂へ」と題して講演。過酷を極めた登頂成功までの軌跡を紹介し、「支えて頂いた皆さんのおかげで登頂できた」と感謝しました。



岩澤 健二氏 (62)
=滝沢市=

Profile/いわさわ・けんじ
昭和32年に北海道で生まれる。教諭となつてからは各地の赴任校で山岳部顧問を務めた。平館高、盛岡南高の校長を歴任。平成30年に定年退職後、世界最高峰のエベレスト登頂を果たした。

夢へ挑戦することの大切さを伝えたい

父の影響で幼少の頃から登山をしていました。大学時代には山岳部に所属し、国内の山々を踏破。世界最高峰のエベレスト登頂を人生の目標としていました。

高校教諭時代には山岳部顧問を務めました。教え子たちに「一歩踏み出し挑戦することの大切さ」などを教え続けてきましたが、自らも実践するため、定年退職する際に生徒たちとエベレスト挑戦の約束を交わしました。退職後、体力づくりに励み、エベレストに初挑戦。登山中は、氷点下30度にもなる過酷な状況に何度も諦めかけましたが、皆さんの支えのおかげで登頂することができました。

今回の経験を、多くの人に伝えていきたいです。



託された市山岳協会旗を掲げ登頂成功を喜ぶ岩澤氏



畑 謙吉氏 (78)
=南寄木=

Profile/はた・けんきち
昭和16年生まれ。旧松尾村役場に勤務し、平成14年に定年退職。平成24年から寄木小の郷土学習「清水めぐり」の講師を務めている。長年、地元の郷土史の資料を収集し、研究を重ねている。

地名と自然を大切にしたい

旧松尾村役場で広報制作を7年間担当しました。制作する中で文献が少ないことを実感。識者から詳しく聞くことができたので、その内容を資料にまとめていこうと思ったことが、郷土史の資料収集、研究活動につながっています。地名には地域の情報や歴史が詰まっています。町村合併などで変化していくものもありますが、文献を残して伝えていきたいです。

私は寄木小の郷土学習の講師を年に4回ほど務めています。金沢清水などの水に関わる場所を紹介しながら、先人たちの暮らしから生まれた地名のことや、自然の恩恵を受けて私たちが生活していることを児童たちに教えていきたいです。



寄木小の郷土学習で水の大切さを伝える畑氏